

研究分野	生態系	部名	調査普及部
研究課題名	外来魚被害緊急対策事業調査		
予算区分	国補 (県1/2)		
試験研究実施年度・研究期間	H.10 ~ H.17		
担当	二木 幸彦		
協力・分担関係	青森市、百石町、下田町、上北町、鶴田町、七戸町、百石町・小川原湖・廻堰大溜池内水面・七戸川内水面漁協、八戸水産事務所		

〈目的〉

繁殖力が強く、内水面の有用魚種に悪影響を与える外来魚（オオクチバス、コクチバス、ブルーギル）について、生息状況調査、駆除指導、生態調査等を実施する。

〈試験研究方法〉

1 生息状況調査

百石町ハンノキ沢堤、下谷地堤、下田町上谷地中堤、上谷地堤及び青森市山下溜池における持網、釣りによるブルーギルを主対象とする外来魚の生息状況調査

2 駆除指導・生態調査

百石町根岸堤、青森市山下溜池、上北町小川原湖・姉沼、鶴田町新溜池、七戸町和田ダム等における外来魚駆除の指導及び採捕された外来魚の測定

〈結果の概要〉

1 生息状況調査

○当研究所では百石町と共に2003年7月18日、百石町いちょう公園内の根岸堤において、オオクチバスの他、県内の公的試験研究機関としては初めてブルーギルの生息を確認している。2004年には7月20日、百石町・下田町と共に近くの溜池を調査したところ、百石町いちょう公園内のハンノキ沢堤においてブルーギル及びオオクチバス、下田町上谷地中堤においてオオクチバスの生息を確認した。

○10月6日には青森市、県営浅虫水族館（情報提供者）と共に青森市山下溜池において、オオクチバスの他、津軽地方では初めてブルーギルの生息を確認した。

2 駆除指導・生態調査

○根岸堤では、刺網はコイ、フナの混獲が多く、地曳網は泥の重みで破損した。ミミズを餌とした延縄で多数のブルーギルを採捕できた。小型の在来魚が極めて少ないため、持網による稚魚採捕も有効であった。籠については、モンドリ、遮光式円筒籠等試しており、今後、詳細な効果確認が必要となっている。8月5日に駆除釣り大会を開催したが、事前広報の不足等により15名の参加で、釣獲されたのはブルーギル75尾、オオクチバス7尾と少なかった。しかし、ブルーギルは比較的簡単に釣獲でき、今後も、駆除手段の一つとして検討する必要がある。これらの他、7月7日に宮城県伊豆沼方式の人工産卵床20基を設置してみたが、産卵確認はできなかった。背負い式エレトリックショッカー試験では、6月18日ブルーギル3尾、オオクチバス2尾、9月24日ブルーギル37尾、何れも小型サイズで不調であった。ナマズによるブルーギル捕食試験を当研究所で実施した後、10月26日に平均全長24.6cmのナマズ950尾を放流した。東京本社の応用地質(株)が水位低下式追込み網の試験を行っており、

9月21、22日に漁具を設置し、水位低下後、10月7～9日にブルーギル約3,500尾、オオクチバス約300尾を採捕した(表1)。

- 山下溜池では、ほぼ完全に水抜きができ、追跡調査(10月30日、11月6日、11月22日)ではブルーギル、オオクチバス何れも確認されなかった(貯水再開は12月上旬)(表2)。
- 小川原湖、姉沼では、例年どおり胴網(定置漁具)に入網したオオクチバスの回収が行われた(表3)。
- 新溜池では、初めて水抜きによるオオクチバスの駆除が行われた(表3)。
- 和田ダムでは、平常水位で刺網によるオオクチバスの駆除を行ったが不調であった(表3)。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表1 ブルーギル・オオクチバス魚体組成(根岸堤(百石町))

魚種	ブルーギル						オオクチバス					
	刺網	簗	釣り	地曳網	延縄	持網	刺網	簗	釣り	地曳網	延縄	持網
採捕尾数	76	75	180	5	991	11,136	54	53	31	2	198	27
測定尾数	72	42	180	5	963	500	54	31	28	2	197	27
全長:cm												
0～5		3			4	499		3				
5～10	3	27	1		35	1	18	2		120	27	
10～15	21	10	156	4	707		8	5	17		51	
15～20	30	2	23	1	217		1	4	6		16	
20～25	18						5	1	2		7	
25～30							20		2		2	
30～35							15	1				
35～40							5					1

刺網:6/11～7/21、簗:6/12～9/1、釣り:6/25～8/5、地曳網:7/16、延縄:7/22～9/2、持網:8/27、9/13

表2 ブルーギル・オオクチバス魚体組成(山下溜池(青森市))

駆除漁法	持網・タモ網(水抜き)		
実施月日	10/24		
魚種	ブルーギル小	ブルーギル大	オオクチバス
採捕尾数	14,400	1,300	84
測定尾数	100	100	72
全長:cm			
0～5	100		
5～10		20	19
10～15		76	22
15～20		4	7
20～25			18
25～30			3
30～35			1
35～40			
40～45			2

注)ブルーギルの採捕尾数は重量から推定

〈今後の問題点〉

- より効果的な駆除方法の検討
- ブルーギル分布状況の詳細な把握

〈次年度の具体的な計画〉

- 駆除指導:根岸堤、小川原湖、姉沼等

〈結果の発表・活用状況等〉

- 各水域の調査結果報告書を関係機関に送付
- 平成16年度水産試験研究成果報告会、百石町いちょう公園根岸堤外来魚駆除対策会議等での報告

表3 オオクチバス魚体組成(小川原湖(上北町)他)

場所	小川原湖(上北町)	姉沼(上北町)	新溜池(鶴岡町)	和田ダム(七戸町)
駆除漁法	胴網	胴網	持網(水抜き)	刺網
実施月日	6/17～12/6	9/10～10/22	9/5	9/16～9/18
採捕尾数	560	156	216	4
測定尾数	497	143	216	4
全長:cm				
0～5	2			
5～10	212	9	83	
10～15	207	85	118	
15～20	62	40	1	
20～25	9	7	9	
25～30	5	2	2	2
30～35				1
35～40				1
40～45				1